



Newsletter of Center for the History of Meiji University

ニュースレター 明治大学史 No.21

目次

- 1 研究会報告 2 受贈刊行物一覧（2023年10月～2024年8月） 3 大学史資料センター日誌抄（2023年10月～2024年9月）

1 研究会報告

（1）創立150周年事業準備会

本研究会は、2031年の本学創立150周年を見据えて、新たな資料発掘と研究成果の蓄積を図ることを目的として、2022年度に発足した研究会である。当面の事業として、『白雲なびく遙かなる明大山脈』シリーズの刊行を進めるとともに、2023年後半から2024年度にわたっては、村上が法律考証としてNHK連続テレビ小説「虎に翼」の制作に携わっているほか、同ドラマに関連する学内外の諸事業・イベントに協力している。

（村上一博）

（2）アジア留学生研究会

当研究会は、本学の130年近いアジア留学生受け入れの歴史を扱う研究班として2010年に設立された。構成員は、代表の高田幸男のほか、センター所長の村上一博（法学部教授）、運営委員の李英美（商学部教授）、三田剛史（商学部教授）、山下達也（文学部教授）、研究調査員の土屋光芳（名誉教授）、鳥居高（商学部教授）、鈴木将久（元政治経済学部教授、現東京大学教授）、事務局の阿部裕樹と古俣達郎（センター職員）である。

2023年度は李を代表とする科研プロジェクト「東アジア近代法学・関連諸科学ネットワークと人材育成」の最終年度として、7月に台湾、11月に韓国で調査・インタビューをおこない、2024年2月には、韓国から2名、台湾から1名の研究者を招聘し、プロジェクトを総括する国際シンポジウムを開催した。

この成果を活かして、2024年11月に『白雲なびく遙かなる明大山脈⑤ アジア編Ⅱ』を刊行し、また比較文明学会において研究会として学術報告をおこなう予定である。

（高田幸男）

（3）財界人研究会

本研究会は、昨年に引き続き本学出身の福井銀行頭取市橋保治郎と小田急創設者利光鶴松を主に調査・研究してきた。市橋に関しては、2023年11月に福井銀行が管理する市橋保治郎（保堂翁）記念館（旧市橋家を改装、通常は非公開）を訪問し、福井銀行設立認可通知、営業報告書、日銀総裁による市橋頭取表彰状等、福井銀行の設立とその後の発展過程を追跡できる諸資料・物品等を調査した。さらに2024年4月には、文学部の野尻泰弘先生のご協力を得て、昨年調査の際に未確認だった未整理資料の分類と主な資料の点検を試みた。この中には1893・97年県会議員当選証、1896年土木事業調査委員選任通知、1897年県農工銀行設立委員任命通知、1898年同前解任通知、その他市橋家関係の近世文書・明治期家計資料等が多数あり、その保存について福井銀行及び福井県文書館へ助言・提案しておいた。また、研究会では福井銀行と地域産業との関係や、県会議員としての市橋の活動内容や地主制との関連等を検討してきた。

利光に関しては、『大学史紀要』第30号に2023年10月実施の「利光鶴松シンポジウム」での報告要旨を発表した。今年度の研究会では、自由党員としての活躍ぶりや弁護士としての活動内容、衆議院議員としての立法活動、さらに鉄道業界重鎮としての活動等を検討してきた。

今後はさらに両氏の関連資料を検討するとともに、鉄道関係や経済分野のリーダーとして活躍した校友の事績調査を継続する予定である。

（白戸伸一）

（4）文学者研究会

当研究会では2017年の設置以来、明治大学に関係する文学者や評論家、文化人を中心に研究を行っている。構成員は



代表の富澤成實（政治経済学部教授）のほか、松下浩幸委員（農学部教授）、吉田悦志研究調査員（名誉教授）、村松玄太前室員（情報コミュニケーション学部事務室）である。これまでも、作詞家・作家阿久悠や小説家・子母澤寛、俳優・高倉健、旧神田・麹町区（現千代田区）と近代文学との関わりについて研究を進めてきた。

2023年度のおもな活動・研究成果は、つぎのとおりである。

旧神田区・麹町区に関する文献調査・収集とフィールドワークについては、本学図書館や千代田図書館、日比谷図書館、神保町古書店・秦川堂書店などを通じて資料収集を行い、一方東京駅・丸の内・皇居の現地調査、および本学教員であった夏目漱石研究のため阿蘇・熊本出張調査（松下委員）を実施した。これらの文献調査・収集・フィールドワークについて各自、「科研費 宮城の街 調査シート」にまとめたうえで当研究会において中間報告を行った。

研究成果としては、明治大学史資料センターのホームページに連載中の「大学史リレーコラム 白雲なびく～遙かなる明大山脈～」に発表した、富澤成實「御茶ノ水駅と阿久悠の青春」（2023・11）、松下浩幸「映画監督・岡本喜八のDNA」（2024・1）の2編や、明治大学人文科学研究所『明治大学人文科学研究所紀要』第91冊（2024・3）に発表した、松下浩幸「樋口一葉と〈東京〉表象―『一葉日記』と『別れ霜』―」がある。また、吉田悦志研究調査員は、めぐるシティカレッジで「作詞家・阿久悠の戦後―美空ひばりと石原裕次郎を手掛かりとして―」（2024・5）、明治大学新潟県父母会で「日本海側地域と明治大学―創立者3人と平出修たち―」（2024・6）と題して講演活動を行った。

2024年度は、科研費・基盤研究（C）に採択された「宮城の街、旧麹町・神田区における文学言説を用いた近代都市風景史の構築」（研究代表者：松下浩幸委員、研究分担者：富澤成實および村松玄太前室員、研究協力者：吉田悦志研究調査員）の3年目（最終年度）として、旧神田区・麹町区に関わるフィールドワーク（番町・麹町を重点的に）や小説・文献などの旧神田区・麹町区関連の場面を集めた「調査シート」の継続的な作成およびデータベース化と研究発表会の開催、大学史紀要への論文発表など、また皇居や近代日本文学に関わる地域への出張調査を計画している。加えて高倉健・阿久悠・子母澤寛をはじめとする本学の校友などに関する研

究についても引き続き行う予定である。（富澤成實）

（5）三木資料研究会

三木武夫資料研究会では、三木の事跡だけでなく、「対話による政治的対応」が円滑に進んだ場合とそうではなかった事例を対象として、2023年度も幅広く資料調査と聞き取りを中心に行った。信夫隆司研究調査員がこれまでアメリカで収集した資料を共有するとともに、米国の国立公文書館で実施する資料収集を円滑に行なうため、現地で調査補助を行なうニチマイの担当者長坂氏とのオンライン会議も行った。その上で、9月4日から8日の日程で信夫、村松玄太、小西徳應が調査を行い、その後も、信夫、村松、栗田尚弥（2023年から新規参加）が個別に渡米して資料収集に当たった。

また沖縄の基地問題を対象に、2024年3月16日から18日に沖縄で調査を行った。沖縄県立公文書館で資料調査と同館の資料収集を行なった仲本和彦研究員の話の聞くとともに、基地問題の研究者である、沖縄国際大学の前泊博盛教授、同大学の照屋寛之名誉教授からも、普天間基地、嘉手納基地の間近で、基地問題の歴史と現状を聞いた。山泉進、村松、信夫、栗田、小西が参加した。（小西徳應）



米国国立公文書館にて



米軍ヘリ墜落を伝える碑の前にて

（6）事務局の調査・研究活動

事務局では、2023年度より女性法曹についての関連資料の収集を進めている。年度末には、各キャンパスおよびその周辺の写真撮影を実施する予定である。

また、科研費の採択を受けている法律学校研究会（基盤研究（C）明治大正期神田学生街の形成と近隣法律学校生の諸活動の相互影響に関する実証的研究）での調査・研究活動を進めている（阿部裕樹・古俣達郎）

2 受贈刊行物一覧（2023年10月～2024年8月）

受贈機関	受贈資料
千代田区立図書館	「千代田区立図書館 図書館だより」2023年秋号
筑波大学50年史編集室	『創基百五十一周年筑波大学五十年史図説編』

受贈機関	受贈資料
玉川大学教育博物館	『館報』第21号
仙台市教育委員会	『仙台市文化財調査報告書第510集 富沢遺跡―第154次発掘調査報告書―』
大阪公立大学大学史料室	『大阪公立大学史』第2号
古賀政男音楽博物館	『古賀政男音楽博物館館報』第53号
福澤諭吉記念慶應義塾史展示館	『Tempus』No. 5
慶應義塾福澤研究センター	『福澤研究センター通信』第39号
東洋英和女学院史料室委員会	『史料室だより』No. 101
慶應義塾福澤研究センター	『慶應義塾福澤研究センター開設35年記念誌』
国立公文書館	『国立公文書館ニュース』vol. 36
横浜市史料室	『市史通信』第48号
筑波大学アーカイブズ	『筑波大学アーカイブズだより』第7号
拓殖大学アーカイブズ事業室	『拓殖大学百二十年史』
大阪女学院教育研究センター	『大阪女学院教育研究センターNewsLetter』第25号、『大阪女学院HighLights』第198号
衆議院事務局憲政記念館	『憲政だより時計塔』令和5年冬季No. 038
立教学院展示室	立教学院創立150周年記念展シーズン1 立教学院展示館第9回企画展『災害の経験に学ぶ―19世紀から21世紀、立教の取り組みから』、立教学院創立150周年記念展シーズン2 立教学院展示館第10回企画展『立教と箱根駅伝』
佛教大学学長室広報課	『B-ism』No. 27
追手門学院大学学院志研究室	『学院志研究室NewsLetter』第16号
石狩市教育委員会生涯学習部文化財課	『いしかり砂丘の風資料館紀要』第13巻、『エスチュアリ』No. 65～68
しょうけい館戦傷病者史料館	『しょうけい館年報』令和4年度（第17号）
青山学院資料センター	『Aoyama Gakuin Archives Letter』29号
和歌山県立文書館	『古文書・公文書等の収集・保存・整理・活用―和歌山県立文書館の業務―』
広島大学文書館	『広島大学文書館だより』第2号
京都大学大学文書館	『京都大学大学文書館だより』
東京大空襲・戦災資料センター	『東京大空襲・戦災資料センターニュース』No. 44
東京大学百五十年史編集室	『東京大学一五〇年史編集室通信』第1号
紀州経済史文化史研究所	『紀州経済史文化史研究所紀要』第44号・『きのみなと』紀州研News Letter 2023 Autumn 通巻11号・特別展『移民と和歌山2023』記憶と遺物の継承～過去から現在、そして未来へ～
大阪公立大学 研究推進機構	『盛田嘉徳文庫目録（5）』
東海大学学園史資料センター	『創立者寄稿（序文・巻頭言）東海大学資料叢書』第12号、『東海大学学園史ニュース』No. 18
学習院アーカイブズ	『学習院アーカイブズニュースレター』第22号
同志社大学同志社史料センター	『新島研究』第115号、『同志社談叢』第44号
早稲田大学歴史館	『早稲田大学史紀要』第55巻
天理大学年史編集室	『天理大学史研究紀要』第4号
関東学院学院史料室	『関東学院学院史料室ニュース・レター』No. 27
日本大学企画広報部広報課	『大学史論稿叢誌』第19号（令和6年2月）、『日本大学史ニュースレター』第26号
学習院大学アーカイブズ学専攻	『GCAS Report vol. 13』学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻研究年報
広島県立文書館	『広島県立文書館資料集12『村上家東 華宮5年・6年』、『広島県立文書館だより』No. 48、『広島県立文書館収蔵文書展 広島港の歴史と資料』
衆議院憲政記念館	『憲政だより 時計塔』令和6年春季No. 039
国立公文書館	『国立公文書館ニュース』vol. 37
立教大学立教学院史料センター	『立教学院史研究』第20号
國學院大學研究開発推進機構事務課	『國學院大學校史Vol. 34』、『國學院大學研究開発推進機構ニュースVol. 17 No. 2』
国土館史料室	『国土館史研究年報 概観』第15号
國學院大學研究開発推進機構事務課	『國學院大學校史・学術資産研究』第16号、『國學院大學研究開発推進機構紀要』第16号
日本大学広報部広報課	『学徒・校友の出征―『日本大学新聞』出征関係記事資料集―』
早稲田大学大学院教育学研究科	『早稲田大学大学院教育学研究科紀要』別冊第31号・2、第34号
沖縄県公文書館	『琉球だより』第17号、第18号
新潟県歴史資料保存活用連絡協議会	『新史料協だより』第29号、『文書館だより』第40号
公益財団法人 野間教育研究所	寺崎昌男『大学沿革史編纂の手引き』
東北学院	『東北学院史資料センター年報』vol. 9 2024. 3. 1
関西学院大学学院史編集室	『関西学院史紀要』第30号
大東文化歴史資料館	『ExOriente』第35号
西南学院史料センター	『西南学院アーカイブズ』第2号、『西南学院史料センター通信 一粒の麦』第7号、ウィリアム・マックスフィールド・ギャロット伝』
大分県公文書館	『大分県公文書館だより』第31号
鳥取市歴史博物館やまびこ館	『鳥取市歴史博物館やまびこ館 年報』令和4年（2022）4月～令和5年（2023）3月
名古屋立大学大学史料館	『NCUHistreet』No. 003
帝国データバンク史料館	『帝国データバンク史料館だよりMuse』第44号
明星学苑	『学校法人明星学苑創立100周年記念誌』
寒川文書館	『寒川町史研究』第35号
神奈川大学資料編集室	『神奈川大学百年史』資料編1
東北大学史料館	『東北大学史料館研究報告』第19号、『東北大学史料館だより』No. 40
茨城県立歴史館	『茨城県立歴史館報』51号
東京大学文書館	『東京大学文書館紀要』第42号、『東京大学文書館ニュース』第72号
神奈川大学資料編集室	『神奈川大学史紀要』第9号、神奈川大学史料集』第40集
北海道大学大学文書館	『北海道大学大学文書館年報』第19号
大阪公立大学大学史料室	『大学史料室ニュース』第28号、『恒藤記念室叢書10』
大阪大学アーカイブズ	『大阪大学アーカイブズニュースレター』第23号
大東文化大学百年史編集委員会	『大東文化大学史研究紀要』第8号
旧制高等学校記念館	『記念館だより』第91号
全国大学史料協議会東日本部会	『大学アーカイブズ』No. 70
慶應義塾福澤研究センター	『近代日本研究』第40巻
武蔵学園記念室	『武蔵学園史年報』第25号
天草市立天草アーカイブズ	『天草アーカイブズ開設20周年記念』官報第18号
桜美林学園学園史編集委員会	『学園史研究』第4号
法政大学HOSEIミュージアム事務室	『HOSEIミュージアム紀要』第4号
女子美術大学歴史資料館	『女子美術大学歴史資料室ニュースレターTEXNHMAKPA』第17号
明治学院歴史資料館	『明治学院歴史資料館資料集』第20集、『明治学院歴史資料館NewsLetter』No. 15
関西大学年史編集委員会	『関西大学年史紀要』第30号
栃木県立文書館	『文書館だより』第66号
愛知大学東亜同文書院大学記念センター	『同文書院記念報』Vol. 32『東亜同文書院記念基金会ニュース』第24号
九州大学大学文書館	『九州大学大学史料叢書』第30号、『九州大学大学文書館ニュース』第47号、『九州大学大学文書館所蔵九州帝国大学農学部附属演習林開闢関係資料目録』
東京大学百五十年史編集室	『東京大学一五〇年史編集室通信』第2号
立教学院展示館	『立教ディスプレイ』第9号
和歌山県立文書館	『和歌山県立文書館だより』第65号
福沢諭吉記念慶應義塾史展示館	『2023年度企画展管轄中條建築事務所と慶應義塾』
横浜市史料室	『横浜市史料室報告書令和五年度戦前・戦中期横浜の小学校震災と戦争のはざまで』、『横浜市史料室紀要』第14号、『市史通信』第49号
帝京大学総合博物館	『帝京大学総合博物館館報』第6号
広島大学高等教育研究開発センター	『大学論集』第57集、『HIGHER EDUCATION FORUM』vol. 21、『コリーグ』57号
玉川大学教育博物館	『玉川大学教育博物館紀要』第21号
立命館史料センター	『立命館史料センター紀要』第7号
金沢市立玉川図書館近世史料館	『特51稲屋石黒文庫目録』
同志社大学同志社史料センター	『同志社史料センター報』第20号
大阪女学院教育研究センター	『大阪女学院教育研究センターNews Letter』第26号

受贈機関	受贈資料
富山大学アーカイブズ事務局	「富山大学アーカイブズ・ニュースレター」第11号
東海国立大学機構 大学文書資料室	「東海国立大学機構 大学文書資料室ニュース」第41号
九州歴史資料館 柳川文書館	「柳川古文書館館報」第3号、「立花右馬助日記」柳川古文書館蔵書第1集
京都大学文学部	「京都大学文学部研究紀要」第22号、「京都大学文学部だより」第46号
安曇野市文書館	「安曇野市文書館紀要」第5号、「安曇野市文書館だより」第12号
東京都台東区教育委員会	「台東区の銅鐘と銅口」、「東都旧蹟誌」、「たいとう名所図会」
印西市立木下交流の杜歴史資料センター市史編さん班	「印西市史」通史編4 近現代
神戸女学院大学図書館	「神戸女学院のヴォーリス建築—Beauty Becomes a College—」
東洋英和女学院史料室委員会	「東洋英和女学院史料室だより」No. 102
福岡女子大学	「福岡女子大学百年史」
筑波大学アーカイブズ	「筑波大学アーカイブズ年報」第7号
福沢諭吉記念慶應義塾史展示館	「Tempus」No. 6
関西学院大学学院史編纂室	「学院史編纂室便り」第57号
国立公文書館	「国立公文書館ニュース」vol. 38
桃山学院史料室	「桃山学院年史紀要」第42号、「桃山学院の歴史」
わだつみのこえ記念館	「記念館だより」No. 18
衆議院憲政記念館	「憲政だより 時計塔」令和6年夏季No. 040
一橋大学創立150年史準備室	「一橋大学創立150年史準備室 NEWSLETTER No. 10 2024.3
福岡市総合図書館	「古文書だより」第3号、「研究紀要」第24号
北海道大学150年史編集室	「北海道大学百五十年史 資料編一」
國學院大學研究開発推進機構	「國學院大學研究開発推進機構ニュース」vol. 18 No. 1
昭和館	「紀要 昭和のくらし研究」第22号、「昭和館官報」第25号
東京大学百五十年史編集室	「東京大学一五〇年史編集室通信」第3号
学習院アーカイブズ	「学習院アーカイブズニュースレター」第23号
日本女子大学 成瀬記念館	「成瀬記念館2024」No. 39
高知市立自由民権記念館	「2023（令和5）年度高知市立自由民権記念館要覧」・「高知市立自由民権記念館紀要」第28号
青山学院資料センター	「AoyamaGakuinArchivesLetter」30号
旧制高等学校記念館	「記念館だより」第92号
東京大空襲・戦災資料センター	「東京大空襲・戦災資料センターニュース」No. 45
北海道大学150年史編集室	「北海道大学150年史編集室ニュース」第11号
大東文化歴史資料館	「ExOriente」第36号
横浜市史資料室	「市史通信」第50号
立正大学文書館	「立正大学紀要」第7号、「立正大学資料編纂室の某」第10号

3 大学史資料センター日誌抄（2023年10月～2024年9月）

2023年

10月2日（月）明治大学デジタルアーカイブ公開（<https://m-archives.meiji.jp/>）

10月18日（水）『白雲なびく遥かなる明大山脈④法曹編Ⅱ』刊行

12月8日（金）「シンポジウム利光鶴松」動画をセンターホームページで公開

2024年

3月30日（木）『大学史紀要』第30号刊行

4月12日（金）全学共通総合講座「明治大学の歴史Ⅰ」を和泉・生田・中野キャンパスでメディア授業として開講

5月25日（土）NHK「土スタ」の公開生放送に協力（連続テレビ小説「虎に翼」関連、於アカデミーホール）

6月7日（金）「鶴澤總明と明治大学」展開幕（於・図書館ギャラリー、～7/4）

7月23日（火）村上一博所長、全国大学史資料協議会東日本部会研究会において「『虎に翼』の裁判事例」を講演（駿河台キャンパス・グローバルフロント4021教室）（連続テレビ小説「虎に翼」関連）

8月24日（土）村上一博所長、校友会鳥取県支部・セン

ター等主催イベント「女性法曹の誕生」（於エースバック未来中心（鳥取県倉吉市）、～25日）において「素顔の三淵嘉子—岸本辰雄の遺産」を講演、あわせてパネル展を開催（連続テレビ小説「虎に翼」関連）

9月9日（月）村上一博所長、小田原市城南中学校にて講演（連続テレビ小説「虎に翼」関連）



小田原市城南中学校での講演のようす

9月20日（金）全学共通総合講座「明治大学の歴史Ⅱ」を駿河台キャンパスで開講